

令和4年度第1回中津川市環境保全審議会に対する意見と回答について

議題番号	ご意見	当市からの回答
1 第三次中津川市環境基本計画における環境指標 報告		
3 ページ	<p>環境保全に向けた人づくりに関する施策</p> <p>目標値ですが、小学校の統廃合が進んでいますが、数値への変更は必要ないでしょうか。</p>	<p>目標値としては、全園、全小学校としておりますが、統廃合に合わせ、括弧内の数値は変更させていただきます。</p>
2 中津川市の環境について		
16 ページ	<p>中津川下流域（中川橋より下流）は、公共下水道事業の進展と工業との公害防止協定の締結により水質の改善が認められたとありますが、平成28年度以降の水質悪化（BOD経年変化値の上昇）原因は何と考えられますか、またその改善策はありますか？</p> <p>また、小淀川のBOD経年変化値について、測定時の一時的なものかもしれませんが、数値の上昇または改善の原因を特定できていますか。</p> <p>さらに、小淀川の改善策を中津川下流域の水質改善に生かせることはできますか。</p>	<p>中津川下流域の近年の水質悪化については、降雨の少ない季節の清流作用の低下による影響が考えられております。河川上流の土砂堆積の撤去も進んでおり、河川の自浄作用の向上を期待しております。</p> <p>子淀川については、令和元年度に数値が上昇しており、降雨の影響あるいは生活排水・飲食店排水の影響を受けたものと考えておりますが、暗渠部分も多く、原因の特定には至りませんでした。子淀川は中津川へ合流していることから、子淀川の水質改善は中津川下流域の水質改善に繋がると考えられますが、中津川には種々の発生元や流路等もあり、河川の流域特性を考えていく必要があります。</p> <p>両河川においても、令和3年度、4年度とも水質の改善がみられております。今後も、河川の水質の測定を続け、水質保全に努めてまいります。</p>
34 ページ	<p>典型7公害以外の部分が6割強を占めています。特にごみ処理手数料有料化制度の実施以降増加傾向にあります</p>	<p>典型7公害以外の特に廃棄物の不法投棄以外の苦情（その他）が特に増加傾向にあります。その他の苦情としましては、</p>

	<p>廃棄物投棄と廃棄物の不適正保管についてはそのうちの69%を占めています。生活スタイル見直しの啓発と取り入れやすいごみ減量方法の検討のほかに、苦情内容を区分別に検討してはいかがでしょうか？</p>	<p>ごみステーションに関する廃棄物のマナー違反、私有地に関する管理方法、太陽光開発に関する案件等があげられます。</p> <p>苦情内容の区分別表示などを行うことで、当市の苦情内容を統計的に把握し、市の施策・市民啓発事業に活かしてまいります。</p>
<p>その他意見</p>		
	<p>BOD 経年変化について、「年平均値」表示から「75%値」表示に変更した理由は何ですか。むしろ今まで年平均値を使っていた理由は何でしょうか。</p>	<p>環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、「75%値」を用います。</p> <p>今までも、環境基準の判断は「75%値」を用いておりましたが、各水質グラフは、一般的なわかりやすさの観点から、「年平均値」を採用しておりました。しかしながら、環境基準に対する指標であることを鑑み、グラフに関しても「75%値」を用いることに変更いたしました。</p>